

# 菩提寺の水路問題

## 斎神社から西への水路



今年7月の豪雨の際、暗渠部の辺りで水が溢れていたとの事、「斎神社の前、暗渠に入る前の箇所から水が溢れていた」「暗渠部の水路から水が噴き出して」「暗渠部の水路に水が流れ込まないため、住宅街の水路が溢れ、家の敷地に水が溜つ

### 7月の豪雨で水が溢れ住宅に被害

場所は、菩提寺コミュニティセンターの近く、斎神社の前を流れる水路です。写真の実線部分については開渠、点線部分は暗渠になっています。水の流れは上の地図の斎神社付近から、左側に向かっています。

菩提寺地先の水害問題について取り上げてきましたが、別の地域で水害問題について情報が寄せられました。

# 滋賀県共産党議員団が28項目の要望で政府交渉

○新型コロナウイルス対策では、「全数把握」の必要性については、抜本的に見直す考えはないと回答。検査に対する財政支援には、「行政検査支援は2分の1、地方単独の場合は臨時交付金を活用することが可能」との回答。第8波が懸念される中、必要な医療がきちんと入院できる体制が必要、「病床確保料」が10月から減額しようとしていることについて「見直しを検討」回答。

## 新型コロナウイルス対策、特別支援学校の大規模化解消などを求める

### 松井議員が参加

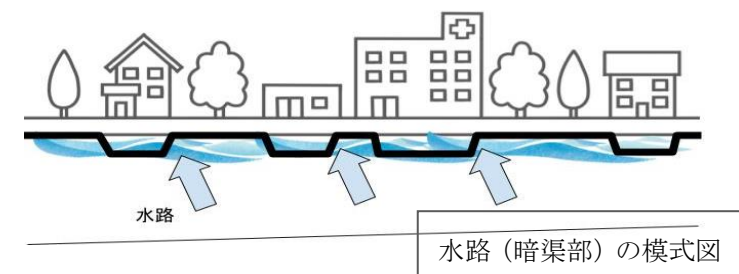
○外国人受け入れ拡大に対応した日本語初期指導への財政支援については、同じ人口規模の自治体と比べ、湖南市の外国人人口比率の高さを示し、訴えた。さくら教室が小中学校1教室ずつで、居住地から遠い教室まで通うのが、難しい児童生徒がいる実態も訴えた。「その必要性を認識しており、補助制度を活用していただきたい」滋賀県にも働きかけていただきたい」という回答。



節木県議が厚生労働省に要望書を提出

### 川波議員が水路の暗渠に入り調査

川波議員は住民の方と共に、実際に暗渠部に入り状況を確認しました。暗渠部は下の模式図の様に、上流部から下流部へ進むにつれて水路の高さが高くなっている構造でした。人が入り込めるほどの大きな水路でありながら、水路の天井部分に落ち葉などのごみが引つかかっていたことから、水量が多い際は水位が天井に届くほどであったことが推測できます。この暗渠部の上は歩道になっています。歩道を横断す



る車のために、歩道はところどころ低くなっています。下の模式図の様に、歩道部分が低くなっている箇所は、その分下にある暗渠部の天井も低くなっています。つまり、上流側では天井一杯まで水が流れていたのに、部分的に天井が低くなっているため、そこで水の流れが悪くなっていた（模式図の矢印部分）と推測できます。実際にこの天井の低くなっている箇所の近辺で水が噴き出したり、流れ込む水が停滞することで溢れるなどの被害があったとの証言と一致していました。こうした実態から、水路に問題があると考えられます。

7月の豪雨は、近年の気象状況に照らして考えれば、決して珍しいものではないため、早急な改善が必要ではないでしょうか。引き続きこの地域で被害状況について調査をしながら、対応を市や県に求めていきます。

## 演説会聞いてください。

### 山添拓参議院議員がお話しされました

11月12日、大津市民会館で山添拓参議院議員の演説会が開催されました。演説会の模様は右のQRコードよりYouTubeでご覧いただけます。



# 湖南民報

2022年11月18日(金)

No. 508号

日本共産党湖南市議員団



福祉教育  
常任委員会  
松井けい子  
0748-77-2049



産業経済  
常任委員会  
川波 忠臣

090-9691-1027

050-3554-3822

湖南民報は「赤旗」に折りこんでいます。